

●ふるさと納税者約1万人の個人情報漏洩…山形市Webサイトに誤掲載

<https://www.sankei.com/politics/news/181206/pl1812060024-n1.html>



このニュースをザックリ言うと…

- 12月6日(日本時間)、山形市より、平成29年度に同市へふるさと納税の寄付を行った10,014名の個人情報(氏名・住所・電話番号・生年月日・メールアドレスその他、最大37項目)を同市Webサイトに誤って掲載していたと発表されました。
- 寄付者から寄せられたメッセージを更新した際、個人情報が含まれないPDFデータではなく、元となるExcelファイルをアップロードしたことが原因としています。
- 同市では対象となった寄付者全員にお詫びの文書を送付するとともに、再発防止策の徹底等を行うとしています。

AUS便りからの所感等

- Excelファイルがアップロードされたのは11月28日で、12月5日に指摘を受けて取り下げられるまでに19件のアクセスがありましたが、被害の報告はないとのこと。
- データのアップロードを行う際には所属長の許可が必要でしたが、所属長側は許可を出した一方で内容の確認を行っていなかったとのこと。
- 同市では再発防止策として、重要データの保管・管理規定の徹底や、ホームページ更新時に担当者・所属長のダブルチェックなどのチェック体制をとることを挙げていますが、実際のWebサイトと同様の内部環境においてデータアップロードを行い、Web上から適切な内容が表示されるか事前に確認すること等が重要でしょう。



山形市、ふるさと納税者の個人情報約1万人分を漏洩

2018.12.6 19:24 | 政治 | 地方自治



山形市の佐藤孝弘市長は6日、記者会見し、ふるさと納税で寄付した個人情報約1万人分を誤って市のホームページに掲載し一時的に情報を漏洩(ろうえい)したと明らかにした。市は、ふるさと納税を一時ストップし早急に再発防止策を作成するとともに関係職員を処分する。

ふるさと納税者の個人情報を漏洩したと発表する山形市の佐藤孝弘市長(五から2人目)ら市幹部へ6日、山形市役所(旭崎第三撮影)

情報漏洩したのは、平成29年度に山形市にふるさと納税した寄付者のデータで、氏名、住所、電話番号、寄付金額、性別、生年月日など寄付者が必ず入力するデータ12項目と、寄付者が任意で入力する、返礼品辞退の有無や出身地、ふるさと納税の動機や回数、応援メッセージなど25項目の計37項目(一部未記入も含む)。

●「最悪なパスワード」2018年版ランキング発表…トップ2は6年連続で「123456」「password」

<http://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/1812/14/news122.html>



このニュースをザックリ言うと…

- 12月13日(現地時間)、スマートフォン向けパスワード管理ツールなどを提供する米SplashData社より、インターネット上に流出したパスワードで多用されていたものを調査した「最悪なパスワード」2018年版ランキングが発表されました。
- 最も多かった「123456」と2位の「password」はそれぞれ2013年以降6年連続での同一順位となっており、続いて3位~7位に「123456789」「12345678」「12345」「111111」「1234567」と数字だけのパスワードがランクインしています。

AUS便りからの所感等

- ランキングで挙がっているトップ25のパスワードは、殆どが「簡単な数字の羅列」「英単語1語(かつアルファベット小文字のみ)」「キーボードで左から(または右から)順にタイプしたもの」といった特徴があり、アカウント奪取を目論む攻撃者が使用する脆弱なパスワードの辞書には大抵載っていることでしょう。
- アルファベットのみ・数字のみのパスワードが登録できないルールを回避するために、それらを組み合わせただけの、依然として簡単なパスワードを設定するケースも多かったようで、15位「abc123」24位「password1」25位「qwerty123」といったものがランクインしていますが、これらの一部だけを変えて「Abc123」「P@sswOrd1」等としたとしても、やはりたちどころに破られることでしょう。
- どういったパスワードを設定するか、パスワードを如何に管理するかは長年議論となっていますが、とにかくすぐに推測されてしまうパスワードを設定しないことがまずは第一です。



「最悪なパスワード」2018年版ランキング発表 トップ2は6年連続で「123456」「password」「password1」「password2」も人気

いいかげん気をつけようよ人間!

【黒木 貴裕、ぬらりぽ】

パスワード管理サービスを提供する米SplashDataが12月13日(現地時間)、インターネットで漏えいしたパスワードの中で多用されている「最悪なパスワード」の2018年版ランキングを発表しました。1位は「123456」、2位は「password」と、上位2つは6年連続同じ結果となりました。